

国道1号北勢バイパス

要望書

市道日永八郷線～国道477号バイパス間(延長4.1km) 令和7年3月16日開通
至 川越 (国道23号)



国道477号バイパス～国道1号間(延長8.4km) 整備予定地

令和8年1月

北勢バイパス建設促進期成同盟会

会長 森 智広

四日市商工会議所

会頭 小川 謙

要 望 書

平素は、北勢バイパスの整備促進につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

四日市市を中心とした北勢地域は、石油化学・半導体・自動車をはじめとした多様な産業が集積し、国際拠点港湾四日市港と高速道路網が相まって、我が国の経済・物流を支える拠点地域となっています。

しかしながら、日常的に発生している国道1号、23号の**渋滞**は、**経済活動の阻害要因**となり、**生活環境の悪化**にもつながっています。

また、この国道1号、23号は第1次緊急輸送道路に指定されているものの、南海トラフ巨大地震による津波浸水被害が予測されています。

こうした課題に対し、北勢バイパスが整備されることにより、国道1号、23号からの交通が分散し、**渋滞が緩和**されることから、**円滑な物流**の確保が期待されます。

さらに、第1次緊急輸送道路が拡充され、防災拠点間の連絡経路が確保されるとともに、津波浸水域を迂回した道路啓開ルートが形成されることから、国道1号、23号が途絶した際においても機能を果たす**緊急輸送道路(命の道)**となるため、ますます北勢バイパスの早期整備の重要性が増しております。

このような中、昨年3月16日に新たに市道日永八郷線～国道477号バイパス間(延長約4.1km)が開通され、既開通区間の交通量が開通前の約7割増加するなどの整備効果が現れております。

引き続き、**北勢バイパス**とともに**鈴鹿四日市道路**が一体的に整備されることで、令和5年11月19日に暫定2車線で全線開通となった**中勢バイパス**と接続し、あわせて総延長約60kmのダブルネットワークが形成され、**県全体としてのさらなる整備効果も最大限発揮**されることとなります。

よって、北勢バイパスの整備をはじめ、産業活動と住民の安全・安心な生活を支える各種道路整備並びに道路インフラの老朽化対策に必要な予算を確保されるよう右記の通り強く要望いたします。

記

1. 北勢バイパスは、新たな道路ネットワークの構築による経済の好循環を図り、新規企業の進出や企業の設備投資などの産業面のストック効果を更に高めることから、早期全線開通に向けて必要な事業費を確保すること。
2. 国道477号バイパス ～ 四日市市采女町(国道1号)間について、整備に向けた調査設計を推進し、早期に暫定2車線での全線開通を図ること。
3. 暫定2車線開通区間(三重郡朝日町小向(国道1号)～国道477号バイパス)について、速やかな4車線化を図ること。
4. 鈴鹿四日市道路の整備を推進すること。
5. 令和7年6月に策定された国土強靱化実施中期計画に位置付けられた施策を着実に推進するため、必要な予算・財源を通常道路予算とは別枠で満額確保すること。
6. 防災や地方創生など、B/Cだけでは測れない効果も踏まえ、交通量の多寡によらない多様な観点も含めて事業の必要性を適切に評価する仕組みを構築すること。

北勢バイパス建設促進期成同盟会 会長 森 智広

会員市町 四日市市長 森 智広 鈴鹿市長 末松 則子
朝日町長 矢野 純男 川越町長 城田 政幸
菰野町長 諸岡 高幸

四日市商工会議所

会頭 小川 謙

北勢バイパスの早期整備について

【事業中区間】

○国道477号バイパス～国道1号(四日市市采女町)

暫定2車線開通

事業推進

○鈴鹿四日市道路(国道1号(四日市市采女町)～中勢バイパス(鈴鹿市稲生町))

三重県内の道路の南北軸を形成(国道23号とダブルネットワーク化)

事業推進

【開通区間】

○暫定2車線開通区間(国道1号(三重郡朝日町小向)～国道477号バイパス)

速やかな4車線化

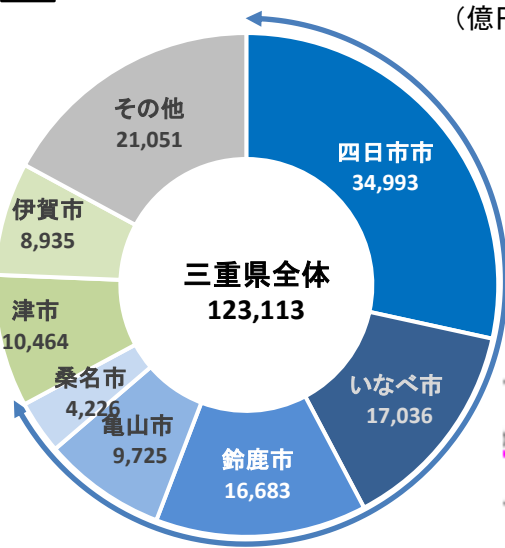
事業推進



北勢バイパスの早期整備による効果は絶大！

- (1) 三重県の北部(北勢地域)に多くの産業が集積する中で、特に四日市市・鈴鹿市は産業・物流の拠点地域。(下記A, B)
 - (2) 四日市港(国際拠点港湾)の利用促進、国際競争力の強化。
 - (3) 国道1号、23号の渋滞緩和は、円滑な産業・物流活動を促進し、生活環境も向上。
 - (4) 沿線に企業(工場)の新規立地や設備投資が進展し、地域経済の発展等、ストック効果が発現。(下記C)
 - (5) 鈴鹿四日市道路の整備による、北勢バイパスと中勢バイパスの接続は、三重県内の南北主要幹線道路のダブルネットワーク形成につながり、三重県全体への波及効果大。
- ➡ 生産性向上による成長力の強化！
- (6) 南海トラフ巨大地震による津波浸水被害が想定される国道1号、23号に代わる緊急輸送道路として機能。
- ➡ 国土強靱化に寄与！

A R6 三重県市町別製造品出荷額等 (億円)



C 沿線の企業 KIOXIA(株)四日市工場



全国の都市の中で第12位

R6 製造品出荷額等の市町ランキング

順位	市	製造品出荷額等
1	豊田市	20兆5271億円
2	倉敷市	5兆5488億円
3	市原市	5兆1190億円
4	大阪市	4兆5596億円
5	堺市	4兆4977億円
6	川崎市	4兆3172億円
7	横浜市	4兆2223億円
8	大分市	3兆9705億円
9	神戸市	3兆8400億円
10	名古屋市	3兆5491億円
11	広島市	3兆5442億円
12	四日市市	3兆4993億円
13	岡崎市	3兆1926億円
14	太田市	3兆1471億円
15	姫路市	2兆9833億円

東海地方の中で第3位

(R6経済構造実態調査より)

津波浸水区域(施設なし) 三重県 平成23年度版予測
主要渋滞箇所(17) 三重県道路交通渋滞対策推進協議会

北勢バイパス建設促進期成同盟会



©SUZUKA PRODUCTIONS



ひらく つながる みえの未来へ



北勢バイパス